

令和5年度 部の運営方針管理書

| | |
|---------|--|
| 部 局 名 | 水道局 |
| 部 局 長 名 | 古谷 靖 |
| 部の運営方針 | <p>我孫子市水道事業ビジョンや我孫子市水道事業基本計画に掲げた、3つの基本目標及び6つの基本方針に基づき、令和5年度は主に次の取り組みを実施します。</p> <p>I. 安全</p> <p>1. 良質な水道の維持</p> <p>水源から蛇口に至るまでの総合的な水質管理を行うため、「我孫子市水道事業水安全計画」の活用や「我孫子市水道局水質検査計画」に基づく水質検査を行います。また、自己水源（深井戸）の計画的な機能保全を図るため、「取水井維持活用方針」に基づき、2か所の井戸について浚渫工事を行います。</p> <p>II. 強靱</p> <p>2. 施設強靱性の維持</p> <p>浄水場整備では、停電時にも継続して浄水場施設を運転するため、非常用発電機更新工事を妻子原浄水場と湖北台浄水場でそれぞれ実施します。水道管路整備では、経年配水管路および基幹管路の耐震化を図るための布設替え工事を行います（総延長は約4kmの予定）。</p> <p>3. 災害対応の強化</p> <p>県内水道事業体間における各種情報伝達訓練、市民と連携した応急給水訓練を行います。また、災害や水質事故等に即応する危機管理体制強化のため局内で事故対応訓練を行うほか、必要な機材の整備も進めます。</p> <p>III. 持続</p> <p>4. 事業継続性の確保</p> <p>基本計画と経営戦略は計画期間5年目を迎え、社会情勢の変化で収益や事業費用の計画値と実績に乖離がみられること、北千葉広域水道企業団全体の水需要、当市における受水及び自己水源の運用コストの変化などを精査する必要があることから、基本計画と経営戦略を点検・総括のうえ見直しを行います。</p> <p>このほか、漏水防止対策として漏水調査を実施し、浄水有効利用に取り組みます。</p> <p>業務効率化方策では、「浄水場設備運転及び維持管理業務等包括委託」及び「料金・給水・会計業務等包括委託」の着実な実施と官民連携の推進により、引き続きお客様サービス向上と業務効率化に努めます。</p> <p>また、次世代の水道実務を担う人材の育成のため、職責に応じ必要な研修を実施します。</p> <p>5. 財政健全性の確保</p> <p>将来にわたり長期間使用する水道施設の整備に要する費用の負担を、世代間で平準化するために、引き続き企業債を活用します。</p> <p>6. 将来につなげる新施策の考察</p> <p>水道にかかる新技術について最新知見や先進事業の動向を注視し、導入に向けた調査・研究を進めます。</p> <p>また、SDGsに向けた取り組み推進のため、職員研修を行います。</p> |

| | |
|----------------|---|
| 部 局 名 | 水道局 |
| 部 局 長 名 | 古谷 靖 |
| 部の運営方針に対する総合評価 | <p>我孫子市水道事業ビジョンや我孫子市水道事業基本計画に掲げた、3つの基本目標及び6つの基本方針に沿って事業を実施しました。</p> <p>このうち「良質な水道の維持」では、水源から蛇口に至るまでの総合的な水質管理を行うため、「我孫子市水道事業水安全計画」を活用し「我孫子市水道局水質検査計画」に基づく水質検査を行いました。また、自己水源（深井戸）の計画的な機能保全を図るため、「取水井維持活用方針」に基づき、2か所の井戸について浚渫工事を行いました。</p> <p>「施設の強靱性の維持」では、停電時にも継続して浄水場施設を運転するため、非常用発電機更新工事を妻子原浄水場で実施しました。水道管路整備では、経年配水管路および基幹管路の耐震化を図るための布設替え工事を総延長約4km行いました。</p> <p>「災害対応の強化」では、県内水道事業体間における各種情報伝達訓練、市民と連携した応急給水訓練を行いました。また、災害や水質事故等に即応する危機管理体制強化のため事故対応訓練を行ったほか、給水袋等必要な資機材の調達も行いました。</p> <p>「事業継続性の確保」では、基本計画と経営戦略は計画期間5年目を迎え、社会情勢の変化で収益や事業費用の計画値と実績に乖離がみられることから、中間見直しを行いました。北千葉広域水道企業団全体の水需要、当市における受水及び自己水源の運用コストの変化などを最新データに修正し、令和10年度までの計画期間における事業、収支計画についての点検・総括を行いました。このほか、漏水調査を実施し、有収率の向上に取り組みました。業務効率化方策では、「浄水場設備運転及び維持管理業務等包括委託」及び「料金・給水・会計業務等包括委託」を継続して実施し、業務の効率化とお客様サービス向上に努めました。</p> <p>「財政健全性の確保」では、将来にわたり長期間使用する水道施設の整備に要する費用の負担を、世代間で平準化するために、引き続き企業債の借入れを行いました。</p> <p>「将来に繋げる新施策の考察」では、水道にかかる新技術として、スマートメータの調査・研究を進めました。</p> |

令和5年度 課の目標管理書

課 名： 水道局 経営課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

水道局は「水道事業ビジョン」や「水道事業基本計画」に掲げた基本目標【安全】【強靱】【持続】に沿って取り組みを推進しています。このうち経営課の令和5年度の目標としては、主に次の取り組みを行います。

【持続】水道事業基本計画については社会情勢が大きく変化したため、同計画を点検・総括の上、見直しを行います。業務効率化方策としては引き続き料金・給水・会計業務包括受託事業者と連携してお客様サービスの向上と業務効率化に努めます。また、次世代の水道実務を担う人材育成のための研修を行います。財政面では水道施設の整備に要する費用について、企業債を活用します。新施策の考察では、水道にかかる新技術については他事業体の最新知見の動向を注視し、調査研究を進めます。

【強靱】危機管理体制強化のため、県などが行う情報伝達訓練や九都県市合同防災訓練、市の避難所運営訓練に参加するほか、水道局独自でも事故対応訓練を行います。

2. 課の目標への取組結果

昨年度に引き続き、業務自体はおおむね通常体制で対応することができました。水道使用量が減少し始めていますが、給水申込給付金が増加したことで、水道事業収益は増額となりました。しかしながら、今後も管路や浄水設備の更新需要が増大することが想定され厳しい経営状況が続くことから、引き続き収支バランスを把握したうえで健全経営に努めていきます。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

新型コロナウイルスが収束に向かったこともあり、テレワークの減少から家庭での水需要が減少し始めているため、将来予測の修正が再度必要と考えます。

給水収益が減少する一方で、水道管路や浄水設備などの更新事業が続くことから、今後も水道事業経営は、厳しさを増していく環境にあります。また、大規模災害への対応や次世代の水道局職員の育成など組織体制についての課題も多いと認識しています。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

今後の課題として、給水収益の更なる向上と次世代の水道事業を担う人材の育成及び大規模災害や水道事故に即応できる組織体制の強化など、将来に向けた執行体制づくりを進めていきます。

1. 事業概要

| | | | |
|--------------------------------------|--|--|--|
| 事業名及び 担当部署等 | 事務事業名 | 応急給水体制の充実 | |
| | 担当部署名 | 水道局 経営課 | |
| 基本計画における 位置づけ | 基本施策名 | 1-1 防災・減災対策の推進 | |
| | 施策の展開内容 | 市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。 さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。 | |
| 事務事業の目的 ・概要 | 総合防災訓練などを通じて市民と連携した応急給水訓練を行い、災害時の即応能力の向上を図るとともに、県及び他の水道事業者との協定に基づく相互応援体制を維持していきます。 | | |
| 関連する市の計画等 | 地域防災計画 | | |
| 当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業 | 応急給水体制の充実 | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 継続費設定事業 | | | |
| 債務負担行為設定事業 | | | |

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

| 年度 | 区分 | 事業費(千円) | 過年度繰越分 事業費(千円) | 年度 | | 人工 | |
|-------|--------|---------|-------------------|---------------|--------|------|------|
| | | | | 正職員 | 会計年度等 | | |
| 令和4年度 | 決算額 | 1,987 | 0 | 令和4年度 (年度末時点) | 5.74 | 0.00 | |
| 令和5年度 | 当初予算額 | 2,634 | 0 | 令和5年度 | 4月1日時点 | 5.74 | 0.00 |
| | 補正後予算額 | 2,634 | 0 | | 年度末時点 | 5.74 | 0.00 |
| | 決算額 | 1,511 | 0 | | | | |
| | 次年度へ繰越 | 0 | 0 | | | | |

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

| 種別 | 内容 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和9年度 |
|----------|--------------------------|----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 活動 指標 | 市民が参加する応急給水訓練の実施回数 | 回 | 目標値 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | | | 実績値 | | 3 | 2 | | |
| 活動 指標 | 水道局独自の訓練 (水道局職員対象) の実施回数 | 回 | 目標値 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | | | 実績値 | 1 | 3 | 2 | | |
| 成果 指標 | 各種訓練に参加した水道局職員の割合 | % | 目標値 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | | | 実績値 | 100 | 100 | 100 | | |
| | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |

4. 事業に対する評価 (Check)

| 評価区分 | 評価についてのコメント |
|------|---|
| 順調 | 市民参加型の防災訓練や水道局内の訓練を通じて、職員全員が参加することで防災意識の向上に努めた。 |

5. 今後の方向性 (Action)

| 今後の方向性 | 理由及び今後の課題等 |
|----------|---|
| 現状通り推進する | 今後も定期的に防災訓練を実施し、市民の生命財産を守るため、職員の災害時における判断能力の向上を図っていく。 |

1. 事業概要

| | | | |
|--------------------------------------|---|---|------------------------------|
| 事業名及び 担当部署等 | 事務事業名 | 水道事業の健全経営 | |
| | 担当部署名 | 水道局 経営課 | |
| 基本計画における 位置づけ | 基本施策名 | 5-7 安全な水道水の安定供給 | |
| | 施策の展開内容 | 業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。 | |
| 事務事業の目的 ・概要 | 中長期的な資産管理計画に基づいて健全な財政収支を維持し、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 | | |
| 関連する市の計画等 | | | |
| 当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業 | 水道事業計画の進行管理 | | 公用車管理 |
| | 契約事務 | | 貯蔵品管理 |
| | 出納事務 | | 料金・給水・会計業務棟包括業務委託の監理 (会計業務分) |
| | 資金管理 | | |
| | 決算調整 | | |
| | 組織・人事管理 | | |
| | 法務事務 | | |
| | 広報活動推進 | | |
| | 職員研修の推進 | | |
| 継続費設定事業 | | | |
| 債務負担行為設定事業 | | | |

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

| 年度 | 区分 | 事業費(千円) | 過年度繰越分 事業費(千円) | 年度 | | 人工 | |
|-------|--------|---------|-------------------|---------------|--------|------|------|
| | | | | 正職員 | 会計年度等 | | |
| 令和4年度 | 決算額 | 62,964 | 0 | 令和4年度 (年度末時点) | 0.25 | 0.00 | |
| 令和5年度 | 当初予算額 | 82,664 | 0 | 令和5年度 | 4月1日時点 | 0.25 | 0.00 |
| | 補正後予算額 | 82,664 | 0 | | 年度末時点 | 0.25 | 0.00 |
| | 決算額 | 40,004 | 0 | | | | |
| | 次年度へ繰越 | 21,505 | 0 | | | | |

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

| 種別 | 内容 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和9年度 |
|----------|-------------------------------------|--------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|
| 活動 指標 | 職員一人当たりの営業収益 (給水収益 / 損益助 定所属職員数) | 千円 / 人 | 目標値 | 126,380 | 124,500 | 124,500 | 124,500 | 124,500 |
| | | | 実績値 | 127,283 | 125,153 | 124,164 | | |
| | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |

4. 事業に対する評価 (Check)

| 評価区分 | 評価についてのコメント |
|------|--|
| ほぼ順調 | 職員一人当たりの営業収益を上げるために、適正な職員数を配置し、今後も給水収益向上の取組と業務効率化の方策を検討していく。 |

5. 今後の方向性 (Action)

| 今後の方向性 | 理由及び今後の課題等 |
|----------|---|
| 現状通り推進する | 令和5年度に「水道事業基本計画」や「経営戦略」を見直したことから、給水収益の更なる向上と業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業の運営に努めていく。 |

1. 事業概要

| | | | |
|--------------------------------------|---|---|--|
| 事業名及び 担当部署等 | 事務事業名 | お客様センターの運営 | |
| | 担当部署名 | 水道局 経営課 | |
| 基本計画における 位置づけ | 基本施策名 | 5-7 安全な水道水の安定供給 | |
| | 施策の展開内容 | 業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。 | |
| 事務事業の目的 ・概要 | お客様センターを効率的に運営し、水道料金の徴収・収納の事務や給水装置工事に関する業務監理などを適切に行ってまいります。 | | |
| 関連する市の計画等 | | | |
| 当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業 | 料金の調定・徴収・収納 | | |
| | 料金・給水・会計業務棟包括業務委託の監理 (料金・給水業務分) | | |
| | 滞納整理及び給水停止処分 | | |
| | 給水装置の維持管理 | | |
| | 給水装置工事監理 | | |
| | 量水器取替・修繕業務 | | |
| | 指定給水装置工事事業者の審査 | | |
| | 貯水槽水道の衛生管理指導 | | |
| 直結・増圧給水の普及促進 | | | |
| 継続費設定事業 | | | |
| 債務負担行為設定事業 | | | |

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

| 年度 | 区分 | 事業費(千円) | 過年度繰越分 事業費(千円) | 年度 | | 人工 | |
|-------|--------|---------|-------------------|---------------|--------|------|------|
| | | | | 正職員 | 会計年度等 | | |
| 令和4年度 | 決算額 | 271,506 | 0 | 令和4年度 (年度末時点) | 3.79 | 0.00 | |
| 令和5年度 | 当初予算額 | 330,678 | 0 | 令和5年度 | 4月1日時点 | 3.79 | 0.00 |
| | 補正後予算額 | 330,678 | 0 | | 年度末時点 | 3.79 | 0.00 |
| | 決算額 | 295,894 | 0 | | | | |
| | 次年度へ繰越 | 0 | 0 | | | | |

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

| 種別 | 内容 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和9年度 |
|----------|---------------------------------|----|-----|---------|---------|---------|---------|---------|
| 活動 指標 | 料金等の請求総件数 | 件 | 目標値 | 688,000 | 692,000 | 699,000 | 706,000 | 710,000 |
| | | | 実績値 | 693,818 | 699,875 | 706,581 | | |
| 成果 指標 | 取納率 (過去5年度の取納額合計 / 過去5年度の調定額合計) | % | 目標値 | 99 | 99 | 99 | 99 | 99 |
| | | | 実績値 | 99 | 99 | 99 | | |
| | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |

4. 事業に対する評価 (Check)

| 評価区分 | 評価についてのコメント |
|------|---|
| 順調 | 取納率が99%であることから、引き続き滞納整理などを行い高い取納率を維持していきたい。 |

5. 今後の方向性 (Action)

| 今後の方向性 | 理由及び今後の課題等 |
|----------|---|
| 現状通り推進する | 今後も水道料金の徴収・収納事務を効率的に行うための新たな方法を検討し、給水収益の向上を図っていく。 |

令和5年度 課の目標管理書

課 名 : 水道局 工務課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

『我孫子市水道事業ビジョン』に定める基本目標「安全」「強靱」「持続」の実現に向け計画的な事業執行に努めます。

また、10年計画のうち5年目を迎える我孫子市水道事業基本計画等の点検・総括、見直しを行い更なる事業の効率化に努めます。

[安全]良質な水道の維持

- ・水質管理業務－「水安全計画」の活用や「水質検査計画」に基づく水質検査を行います。
- ・水源施設の適切な維持管理－「取水井維持管理活用方針」に基づき1号及び3号取水井の浚渫工事を行います。

[強靱]施設強靱性の維持

- ・浄水場整備－停電時に水道水を安定的に供給するため、妻子原浄水場の非常用発電機更新工事（R4からR5の継続事業）及び湖北台浄水場の非常用発電機更新工事（R5からR6の継続事業）を行います。
- ・水道管路整備－船戸、つくし野、泉、中峠、根戸の各地区で配水管路を、岡発戸地区で基幹管路である導水管路を耐震性の高い水道管に布設替えする工事を行います。

[持続]事業継続性の確保

- ・浄水場系包括業務委託の着実な実施と官民連携により引き続き業務の効率化に努めます。

2. 課の目標への取組結果

「我孫子市水道事業ビジョン」に掲げる3つの基本目標の達成に向け「我孫子市水道事業基本計画」に基づき事業を行いました。水道管路整備は、材料費の高騰や労務費の上昇を受けて工事費が値上がりし、更新事業の原資不足により計画どおり事業が執行できず更新に遅れが生じています。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

今後見直しを行った基本計画経営戦略に基づき「我孫子市水道事業ビジョン」に掲げる3つの基本目標の達成に向け「我孫子市水道事業基本計画」に基づき計画的な業務の執行に努めます。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

浄水場設備や重要給水施設管路の更新を本格的に行うためには、財源の確保と高度な専門知識や技術を有する人材を長期的な視野で計画的に育成する必要があります。技術継承は水道局における大きな課題ですが、技術継承をするためには第一に人材を確保することが重要で、そのうえでいかに育成・技術継承していくか関係部署と協議を行います。

1. 事業概要

| | | | |
|--------------------------------------|--|---|--|
| 事業名及び 担当部署等 | 事務事業名 | 浄水場施設の更新・維持管理 | |
| | 担当部署名 | 水道局 工務課 | |
| 基本計画における 位置づけ | 基本施策名 | 5-7 安全な水道水の安定供給 | |
| | 施策の展開内容 | 業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。 | |
| 事務事業の目的 ・概要 | 適切な浄水場の運用に努めるとともに、老朽化した施設の更新を計画的に進めます。 | | |
| 関連する市の計画等 | | | |
| 当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業 | 浄水場施設の更新業務 | | |
| | 浄水場系包括業務委託 | | |
| | 浄水場施設の維持管理業務 | | |
| | 水質管理業務 | | |
| | 取水及び受水管理 | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 継続費設定事業 | 浄水場施設の更新業務 R5~R6年度 281,811千円 | | |
| 債務負担行為設定事業 | 浄水場系包括業務委託 R2~R6年度 946,676千円 | | |

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

| 年度 | 区分 | 事業費(千円) | 過年度繰越分 事業費(千円) | 年度 | | 人工 | |
|-------|--------|-----------|-------------------|---------------|--------|------|------|
| | | | | 正職員 | 会計年度等 | | |
| 令和4年度 | 決算額 | 1,407,214 | 0 | 令和4年度 (年度末時点) | 2.90 | 0.00 | |
| 令和5年度 | 当初予算額 | 2,009,067 | 176,057 | 令和5年度 | 4月1日時点 | 2.80 | 0.00 |
| | 補正後予算額 | 2,009,067 | 176,057 | | 年度末時点 | 2.80 | 0.00 |
| | 決算額 | 1,549,916 | 0 | | | | |
| | 次年度へ繰越 | 294,461 | 0 | | | | |

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

| 種別 | 内容 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和9年度 |
|----------|---------------------------|----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 活動 指標 | 設備機器更新と実施計画の件数 | 件 | 目標値 | 13 | 7 | 4 | 7 | 7 |
| | | | 実績値 | 13 | 8 | 4 | | |
| 活動 指標 | 浄水場維持管理業務終了件数 | 件 | 目標値 | 41 | 33 | 29 | 33 | 33 |
| | | | 実績値 | 41 | 33 | 29 | | |
| 活動 指標 | 水質検査計画に基づく水質検査実施率 | % | 目標値 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | | | 実績値 | 100 | 100 | 100 | | |
| 成果 指標 | 浄水場の適正な維持管理 (浄水場無事故割合) | % | 目標値 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | | | 実績値 | 100 | 100 | 100 | | |
| 成果 指標 | 水質基準適合率 | % | 目標値 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | | | 実績値 | 100 | 100 | 100 | | |
| | | % | 目標値 | | | | | |
| | | % | 実績値 | | | | | |
| | | % | 目標値 | | | | | |
| | | % | 実績値 | | | | | |

4. 事業に対する評価 (Check)

| 評価区分 | 評価についてのコメント |
|------|---|
| 順調 | 良質で安全な水道水の供給を行うため、適切な浄水場の運用に努めた。また老朽化した施設の更新を計画的に取り組んだ。 |

5. 今後の方向性 (Action)

| 今後の方向性 | 理由及び今後の課題等 |
|----------|--|
| 現状通り推進する | 今後も安全で安心な水道水のため、計果樹に沿った浄水場の運用に努めるとともに、老朽化した施設の更新を進めます。 |

1. 事業概要

| | | | |
|--------------------------------------|---|---|--|
| 事業名及び 担当部署等 | 事務事業名 | 水道管路の更新・維持管理 | |
| | 担当部署名 | 水道局 工務課 | |
| 基本計画における 位置づけ | 基本施策名 | 5-7 安全な水道水の安定供給 | |
| | 施策の展開内容 | 業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。 | |
| 事務事業の目的 ・概要 | 水道管路の重要度と老朽度を総合的に判断し、計画的に管路の耐震化を進めるとともに、適切な維持管理に努めます。 | | |
| 関連する市の計画等 | | | |
| 当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業 | 水道管路の更新改良・耐震化 | | |
| | 水道管路施設維持修繕 | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 継続費設定事業 | | | |
| 債務負担行為設定事業 | | | |

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

| 年度 | 区分 | 事業費(千円) | 過年度繰越分 事業費(千円) | 年度 | | 人工 | |
|-------|--------|---------|-------------------|---------------|--------|------|------|
| | | | | 正職員 | 会計年度等 | | |
| 令和4年度 | 決算額 | 633,564 | 0 | 令和4年度 (年度末時点) | 3.50 | 0.60 | |
| 令和5年度 | 当初予算額 | 499,712 | 0 | 令和5年度 | 4月1日時点 | 4.20 | 0.60 |
| | 補正後予算額 | 499,712 | 0 | | 年度末時点 | 3.30 | 0.60 |
| | 決算額 | 463,240 | 0 | | | | |
| | 次年度へ繰越 | 0 | 0 | | | | |

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

| 種別 | 内容 | 単位 | 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和9年度 |
|----------|-------------|----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 活動 指標 | 耐震管布設替え延長距離 | m | 目標値 | 3,605 | 5,526 | 3,646 | 5,000 | 5,000 |
| | | | 実績値 | 3,537 | 5,453 | 3,416 | | |
| 活動 指標 | 修繕工事実施率 | % | 目標値 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | | | 実績値 | 100 | 100 | 100 | | |
| | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |

4. 事業に対する評価 (Check)

| 評価区分 | 評価についてのコメント |
|------|---|
| 順調 | 配水管新設工事及び耐震管布設替え工事は、予定事業を全て完了した。漏水対応は迅速に修繕し適切な維持管理に努めた。 |

5. 今後の方向性 (Action)

| 今後の方向性 | 理由及び今後の課題等 |
|----------|--|
| 現状通り推進する | 安全な水道水を安定的に供給するため、引き続き水道管路の更新・耐震化を計画的に進め、施設の強靱化を図る必要があります。 |